

島根県消防学校だより vol.7

初任総合教育第54期生です！



～『瑠璃の光も磨きから』～

私たちが消防学校に入校してから3ヶ月が経ちました。厳しい規律の中での生活や厳しく過酷な訓練は、今までの生活とは180度違うもので、心が折れそうになることもありました。体力的に遅れてしまう者もいました。しかし、どんな時にも常に第54期生33人が心をひとつにし、支え励まし合い乗り越えてきました。

私たちは社会人としても消防士としてもまだまだ未熟で、教官からは日々たくさんの指摘を受け、多くの課題があります。しかし、その課題の数だけまだまだ伸びしろがあると思っています。第54期スローガン「～瑠璃の光も磨きから～」素質があっても修練を積まなければ大成しません。残り5ヶ月、全員が本物の消防士になれるよう、伸びしろいっぱい修練を積む覚悟で臨みます。教官、先輩職員の皆様よろしくお願ひします。(総代 松江消防 大津功一)

～ 筋肉トレーニング ～



4月18日(金)トレーニングアドバイザー青戸真太講師をお招きし「トレーニング方法」について、講義と実技指導をして頂きました。青戸講師には消防学校で20年以上にわたって、トレーニング理論や体力練成についてご指導頂いておりますので、多くの方がご存知だと思います。長年 学生を見ていただいておりますので、消防の仕事についても理解して頂いており、基礎体力作りには欠くことが出来ない授業の一つです。毎回 学生のスポーツ履歴や体格・体力に応じた指導方法をとられ、今回は「体幹強靱化エクササイズ」ということで、ハードなサーキットトレーニングを指導していただきました。最後 学生はクタクタでしたが、翌日には間違いなく一回り大きくなっています。

合格祈願のランニング?!

6月13日(金)松江市八雲町の「熊野大社」までランニングに出かけました。いつもは体力練成の目的で行いますが、今回は22日(日)に実施される危険物取扱者試験の合格祈願も兼ねてのランニングです。ということなら、教官も神様に代わって試練を与えなければなりません。片道約13kmの道程ですが、彼らには人生の厳しさを教えなければなりませんので、あえて山坂の多い学校～忌部～農道経由というアップダウンのとても多い道程で向かいました。厳しいコースでしたが、あまり暑くなかったこともあって、一人も脱落することなく無事に大社に到着し、合格を祈願することができました。結果については、良ければ次号で触れますが、なければそれなりの結果だったということで…。



幹部特別研修 研修教官課程を実施します！



今年度 新たに「幹部特別研修 研修教官課程」を実施することとし、6月2日（月）にその入校式を行いました。この教育は、①これまで担ってきた豊富な経験や知識・技術を有する職員の大量退職に伴う世代交代を、消防力を低下させることなくバトンタッチすること、②近年の大規模・複雑多様化する災害に対する職員の職務対応能力を向上させること、の二点について各本部が取り組まれている職員指導について、核となる人材を育てることを目的として実施するものです。

入校式には研修生15名全員が一同に会しますが、その後は3名ずつ5班に分れ、約2週間の研修を実施していきます。A班6/3～13 中村（松江）、石田（浜田）、大賀（益田）、B班6/16～26 坂本（松江）、大國（出雲）、安本（安来）、C班7/1～11 小原（松江）、本田（出雲）、福間（大田）、D班7/14～25 長崎（松江）、田中（江津）、陶山（雲南）、E班10/6～17 松本（松江）、安部（松江）、中野（出雲）です。研修内容は、入校前の論文提出に始まり、初任科生の授業補助、一般教養科目の聴講、自主企画訓練、課題演習、研修概論、初任科生の生活指導など、多岐にわたっています。研修の最後には、各自のテーマで40～50分のプレゼンテーションをすることになっていますが、これがなかなか試練のようです。しかし、人前で発表する緊張感とプレッシャーの中で、実践的な感性や判断力が身につくものと思います。この研修を通じ“人を育てる”ということの意義を考えていただき、それぞれの本部における教育・研修体制（OJT）に新たな風を吹き込んでくれることを期待します。

オープンキャンパス 募集します！

消防士を目指している高校生、専門学校生、大学生などを対象にオープンキャンパスを実施します。消防学校の見学などを通じて消防業務に対する理解を深めてもらい“消防士”を目指す動機付けにして頂きます。受験生の増加と職業選択のミスマッチをなくすことを目的として行います。たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

消防活動総合訓練施設 整備します！

建物が複雑化（多様な建築構造・材料の増加、気密性・断熱性の向上等）し、災害が多様化する中、火災件数の減少や世代交代による職員の経験不足を補う教育訓練を実施するため、濃煙や熱気を伴うような実践に即した訓練ができるよう、消防活動総合訓練施設を今年度整備します。

RC造2階建住宅150㎡程度で、2月末の完成予定です。

島根で消防士を目指す方へ

オープンキャンパス

7/28(月)

【午前・午後2回開催】

午前の部 9:30～11:30
午後の部 13:30～15:30
※北朝とも3分点から受付

島根県消防学校では、今年度採用された消防士の訓練の様子と消防学校施設の見学会を開催します。この機会に、ぜひ消防士の仕事に触れてみてください。

- 場 所 島根県消防学校（松江市乃木福富町 735-157）
- 対 象 者 消防士を目指している方、学校の道路指導担当の方、消防に興味がある方
- 開 催 期 間 6月18日（水）～7月18日（金）
- 開 催 定 員 各回30名
- 申 込 方 法 参加申込書にご記入のうえ、FAX、郵送、またはEメールでお申し込みください。上履き、また、屋外での見学がありますので暑さに対応できる準備をお願いします。
- 開 催 日 月曜日から金曜日 9:00～16:30
- お 問 合 せ 電話（0852）22-0166

編集後記（事務局より）

国内経済もアベノミクス効果のためか景気回復基調にあると言われ、公務員志望者も減少しているようです。このような中、消防士志望者の参考とするため、初のオープンキャンパスを開催することとしました。多くの皆様のご参加を期待しております。江戸時代の道徳教科書「金言童子教」に、『学ばずして智を求むるは、魚を願うに網無きがごとし』（学ばないで智慧を身につけようというのは、魚を捕りたいのに網が無いようなもの）とあります。消防学校で学んだ学生の皆さんには、知識をベースに智慧を充分にはたらかせ、今後の現場における職務にぜひ活かしていただきたいものです。

島根県消防学校

〒690-0046 島根県松江市乃木福富町735-157
E-mail: syobogako@pref.shimane.lg.jp
Tel: 0852-22-0166